

## 次期古賀市長選挙に対する態度表明

2018年7月9日（月）14時

古賀市議会議員 奴間健司

### （1）主旨

①2018年11月25日実施の古賀市長選挙に立候補することを表明する。

ア) 2017年7月の後援会総会での出馬要請をはじめ、多くの市民のみなさんからの要請、期待の声を頂いた。

イ) 市内各地での「ふれあい集会」(市政報告会)、「まちづくりフォーラム」、「未来スクール」などを開催し、ビジョン、政策の検討を深めた。

ウ) 7月8日の後援会総会の場で正式に立候補を確認した。同日開催した将来ビジョン発表会で多くの皆さんに私の決意とビジョンを説明した。

エ) 以上の経過を踏まえ本日、記者会見を行うこととした。

### （2）現状に対する評価

①市民の多くは、交通の利便性、子育てや学校教育環境の充実、医療機関の整備、自然環境と安全性などについて古賀市に「すみやすさ」を感じている。

②一方で、これまでの市政に対し不安や不満を抱いている市民が少なくない。

ア) 少子・超高齢社会に備える長期計画がないことへの将来への不安。

イ) 「古賀市はこれだ！」という特徴・活気がない現状への不満。

ウ) 情報提供・共有や対話・参加が乏しいことなど市政への不信。

③市民の不安、不満、不信をこれ以上放置することはできない。

これらについては毎回の定例議会の一般質問で指摘、提言してきた。一部は取り入れられたが基本的な点については前向きな答弁はなかった。

これらの市民の不安、不満、不信は現市政の継続では解消できないと判断する。また、具体的構想や経験のないリーダーでも解消できないと判断する。

(3) 私が目指す古賀市の将来ビジョン ～チャレンジ2040こが～

①健康・地域・産業のコラボで持続可能な安心都市こが

ア) 「食と健康」

健康づくり推進員の増員、健康ポイント制度、こが式「元気予報」の導入などで予防の徹底

イ) 「地域の力」

各小学校に「地域いきいきセンター」設置、地域分権の徹底、住民力による居場所づくりと生活支援、移動のサポート

ウ) 「新産業・しごと創出」

「食」と「健康」産業推進協議会の設置、直売デーと観光のツアー、健康食の企画・開発、古賀駅東口周辺の「にぎわい空間リノベーション」、モバイルワーク推進、新工業用地の計画的確保、オーガニック給食・配食

(4) 私が目指す市政運営

情報発信・共有と対話・参加のあふれるまち

①情報発信と共有の徹底

定期的な市長記者会見の実施（中継・録画配信）、行政の意思決定の見える化（庁議の記録の公開）、財政の将来負担の見える化（財政計画の策定と公表）、市民視点の行政評価の導入。

## ②対話と参加の徹底

市長タウンミーティング、予算編成聴衆会「まちづくり懇談会」、「若者議会」の設置と予算への反映、スマートフォンアプリ「市民共働レポート」の導入

## ③スピード感ある実行力 市民・企業、行政、議会の三位一体

新国富経済指標や財政シミュレーションゲームを活用した新総合計画の策定、公務イノベーションとプロデュース力の向上、こが式職員採用とフレッシュヤーズノート活用、次世代型リーダー養成スクール、市民共働「カイゼン運動」

## （５）今後の活動や政治的スタンス

### ①今後の活動

#### ア) 将来ビジョンと具体的政策の策定

多くの市民、サークルや団体、企業、自治体関係者等との意見交換を積み重ね、将来ビジョンと具体的政策を策定する。9月中旬ころに発表する。

#### イ) 市民との直接対話を市内全域で実施する

「ふれあい集会」、「ミニ集会」、「未来スクール」などを公民館、集会所等で実施する。

#### ウ) 「まちづくりフォーラム」を開催する

これまで福津市長、九大教授、元武雄市長を古賀市にお招きしたように、今後も自治体関係者、有識者等を招き、市民とともに古賀市の新たな市政の実現に向けて学ぶ機会を実現する。

## エ) 適切な時期に議員を辞職する

### ②政治的スタンス

#### ア) 完全無所属・市民派を貫く

どの政党にも属さず、完全無所属・市民派を貫く。風の人から地の人へ。

#### イ) 政策本位・高い投票率

政策本位かつ**若者に注目してもらえる選挙**を実現し、高い投票率を目指す。

### (6) 私の主な経歴

- 古賀市議会議員（前議長）。古賀市まちづくりフォーラム実行委員会委員長。
- 1952年4月17日生まれ（石川県加賀市）66歳。
- 1972年千葉大医学部入学。公害・薬害問題に取り組む中で、社会の病を治そうと医学部中退（1979年9月）。古賀市に住んで30数年。自宅は花見東2区。
- 1995年町議初当選。現在6期目。トップ当選5回。
- 2011年5月から4年間は古賀市議会議長を務める。  
2014年度から3年連続で議会改革度・九州沖縄第1位の評価。
- 2011年11月、古賀市自治功労者表彰。  
2018年5月、全国市議会議長会から20年表彰。
- 1994年11月の町長選、1998年11月の市長選、2002年11月の市長選、2006年11月の市長選に立候補。市長選としては今回が12年ぶり4回目の挑戦。
- 糟屋北部消防組合議会議長、玄界環境組合議会議長、古賀高校組合議会議長、「福岡東医療センター・在り方検討委員会」委員長等歴任。
- 千鳥小の自然観察会支援、花見松原保全活動、花見苑自主防犯パトロール等に参加。
- 「地域医療と市民を結ぶ会」（大岩俊夫代表）事務局長
- 以前、日本労働党に属していたが10数年前から党活動から離れている。現在は完全無所属である。
- 妻（明子）社会福祉士、息子（健明）義肢装具士（兵庫県在住）、娘（夏美）管理栄養士。
- 趣味 ハイキング、写真、コカリナ演奏。